

商 団 連

第348号

令和元年7月1日

1部 50円

発行所
 全国卸商業団地協同組合連合会
 東京都港区赤坂5-1-31
 第6セイコービル4階(〒107-0052)
 電話 03-6807-4335
 編集発行人 平澤和人

第52回通常総会

例年通りホテルニューオータニで開催

「卸商業団地機能向上支援事業」スタート

商団連の令和元年度通常総会(第52回)が、さる6月25日(火)東京・紀尾井町のホテルニューオータニ「悠の間」において開催された。

総会は、午後1時30分より開催され、司会者より、会員99名(本人出席63名、委任状出席36名)の出席に より、総会成立のための定

足数である会員数の過半数を超えているため、本総会は有効に成立する旨宣誓せられ開会した。

「令和元年という新時代のスタートラインに立ち、会員の皆様からも多くの要望がありました。卸商業団地機能向上支援事業」とい

助成金事業を商団連が受け皿となり創設することができました。中小企業庁をはじめ中小機構などの関係機関のご支援に感謝を申し上げますとともに、大いにこの事業をご活用くださいますようお願い申し上げます」と開会の挨拶が行われた。

引き続きご臨席いただいたご来賓である中小企業庁安藤久佳長官、独立行政法人中小企業基盤整備機構井上秀生理事、株式会社商工組合中央金庫関根正裕代表取締役社長の方々よりご挨拶が行われた。

ご来賓の挨拶の後、福井会長を議長に選出し、議案審議に入った。



中小企業庁長官 安藤久佳氏



商団連会長 福井 弘氏



商工中金社長 関根正裕氏



中小機構理事 井上秀生氏

第1号議案「平成30年度事業報告・財産目録・貸借対照表・損益計算書並びに剰余金処分(案)」について承認を求める件

栗原専務理事より原案の説明が行われたのち、辻昭久監事(協秋田卸センター)より、平成30年度決算関係書類及び業務について監査した結果、財産管理・収支の処理・予算の執行・業務についていずれも妥当と認められる旨報告があり、審議の結果、全員異議なく原案どおり承認された。

第2号議案「令和元年度事業計画(案)・収支予算(案)」について承認を求め

新役員は以下の通り
 川崎 益美(協八戸総合卸センター理事長)
 木村 仁(協横浜マーチャンダイジングセンター理事長)

その後、事務局より「準会員規程」に基づく新規準会員となった協横浜総合卸センターの紹介が行われ、議案審議は終了した。

引き続き、今回の総会において理事を退任される橋本昭一理事(協八戸総合卸センター)、清理事(小田原卸商業団地協)にそれぞれ感謝状が贈呈され通常総会は終了した。

講演会

講師 白鳥 和生氏
 演題 流通と消費の今を
 読む

通常総会終了後、午後3時より、日本経済新聞社編集局調査部長白鳥和生氏による講演会が行われた。演題は「流通と消費の今を読む」超高齢化時代、人口減少時代に生き残る流通業の成長戦略と今後の方向」でした。

講演要旨
 今の時代を読むキーワードを JIKAN(時間)の5項目で捉えていました。Jは持続可能性と人生100年時代、Iはインテリジェンス、Kは健康、Aは愛され応援されること、NはNIPPONです。持続可能性(SUSTAINABILITY)は環境・社会・経済などが将来にわたって適切に維持・保全される、発展できること。国連は持続可能な開発目標として貧困、教育、環境など17



日本経済新聞社 白鳥和生氏

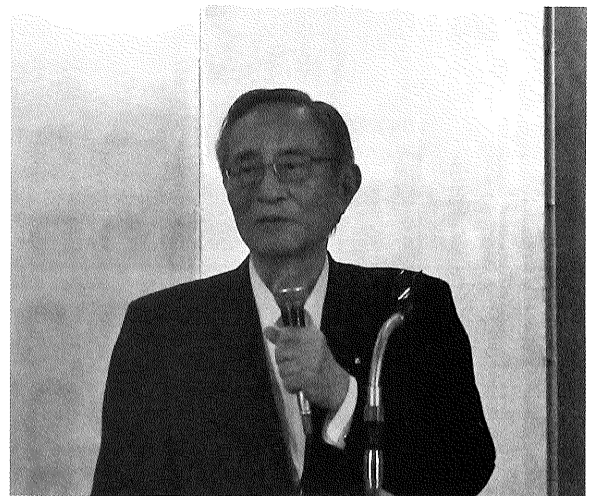
の目標を掲げている。人生100年時代への対応として、定年後の長い時間を過ごすために必要な居場所を提供することが重要。地域コミュニティの核となる場所や店舗の提供が必要。インテリジェンスは、何が本当の情報なのか、自分にとって役に立つ情報は何かの正しさを認識することが必要。新しい状況に迅速適切に対応する能力が求められる。健康は、超高齢化時代に突入し、若者も健康志向になってきている。Aは愛され応援される企業になること。企業の存在価値は人々や社会に対して「しあわせ」を与えること。ファンを増やすことが企業の持続可能性を高める。Nはニッポンです。新天皇が即位されお祝いムードが高まっている。日本の伝統やカルチャーが目玉され、日本を情報発信する好機でもある。経済学者のピーター・ドラッカーは「構造変化は、その産業の外にいる者に例外的というべき機会を与える。ところが、産業の内にいる者には同じ変化が脅威と映る」と述べている。変



中小機構理事長 豊永厚志氏



経済産業大臣政務官 滝波宏文氏



衆議院議員 細田博之氏

懇親会

化はチャンスと思う人とピンチと思う人がいる。同じ業界にいるとピンチと思うことも、外の業界からみるとチャンスだと映ることもある。今後他業界との連携が求められる。人材はミツバチのような人が求められる。いろいろな所に動き回って知識を得る人、異業種・他業界と連携をとり、学び、橋渡しとなるような人材が求められる。消費者小売り、メーカーや生産者に喜んでもらえる流通業界であって欲しい。「製」「配」「販」「消」が互いに喜び、楽しむビジネスを構築していこう。

講演会終了後、会場を「翔の間」に移し、懇親パーティーが行われた。

福井会長の開宴挨拶の後、全国卸商業団地対策議員懇話会の会長で、衆議院議員である細田博之先生、経済産業大臣政務官の滝波宏文様、中小企業基盤整備機構の豊永厚志理事長にご挨拶をいただいた。その後、全国中小企業団体中央会専務理事高橋晴樹氏のご発声により乾杯が行われた。

和やかな歓談の後、商団連の滝幹夫副会長(協一宮織維卸センター)に締めをいただいた。当日の主な来賓は次のとおりです。(敬称略)
▽全国卸商業団地対策議員懇話会(名簿順)
衆議院議員(本人出席) 津島 淳、秋葉賢也、福田達夫、小淵優子、尾身朝子、神山佐市、牧島かれん、塩谷立、原田憲治、盛山正仁

細田博之、逢沢一郎、小島敏文、小林史明、広田一

中曽根弘文、滝波宏文、舞立昇治、宮沢洋一

衆議院議員(代理)

亀岡偉民、中曽根康隆、

黄川田仁志、松本純、堀内

詔子、江崎鐵磨、石破 茂、

赤澤亮正、岸田文雄、鬼木誠

金子万寿夫

参議院議員(代理)

末松信介、石井正弘、溝

手頭正

▽中小企業庁 安藤久佳

(長官)、木村聡(事業環境

部長)、奈須野太(経営支

援部長)、小島暢夫(商業

課長)、久田周士(商業課

課長補佐)、高橋達也(商

業課課長補佐)

▽中小企業基盤整備機構

豊永厚志(理事長)、井上

秀生(理事)、柳澤聡(高

度化事業部長)、沢田太志

(高度化事業部審議役)、橋

本孝(高度化事業企画課長)、

河井豊(高度化事業推進課

長)、占部治(関東本部長)

▽商工中金 関根正裕(社

長)、梅田晃士郎(副社長)、

小野木哲也(常務)、山口

卓郎(総務部長)、萩尾太経

営サポート部長)、佐々木

涉(ソリューション事業部

長)、中塩浩幸(人事部長)、

木戸口昌己(融資第二部長)、

小山君一(融資第二部上席

審査役)

▽全国中小企業団体中央会

高橋晴樹(専務理事)

▽住友生命 米林裕(常務

執行役員)

▽東京経済大学 宮下正房

(名誉教授)

▽全国卸商業団地厚生年金

基金 橋高克和(理事長)、

上原尚(常務理事)

組合代表者、事務局専従役職者の変更

会員組合の令和元年度通常総会が終了し、理事長及び事務局に一部変更がありました。変更は下記の通りです。

(理事長の交代)

組合名	前理事長	新理事長	会社名
(協)石狩新港卸センター	杉山 隆 俊	梅本 成 利	(株)大弘社印刷
(協)八戸総合卸センター	橋本 昭 一	川崎 益 美	第一青果(株)
(協)横手卸センター	和泉 健 一	和泉 正 之	(株)かねぎ
小田原卸商業団地(協)	清 康 夫	山岸 功 治	山岸(株)
(協)横浜マーチャングライジングセンター	鈴木 信 晴	木村 仁	(株)カレンズ
(協)川崎卸センター	宮代 久 悦	中込 壮 一	川崎鶏卵(株)
松本流通センター(協)	上條 栄 規	丸山 幸 作	桜田電気工業(株)
(協)一宮繊維卸センター	滝 幹 夫	佐々木 久 直	ササキセルム(株)
(協)高岡問屋センター	永田 義 邦	上野 宏 芳	(株)ウエノ
(協)徳島繊維卸団地	林 基 志	斎藤 敏 彦	斎藤陸(株)
(協)延岡卸商業センター	永友 隆	市園 清 貴	(株)小宮硝子建材

(事務局の交代)

組合名	前専従役職者	新専従役職者
(協)前橋問屋センター	佐藤 充事務局長	沼賀 良宏専務理事
船橋総合卸商業団地(協)	金子 英昌事務局長	岩間 浩一事務局長
(協)横浜マーチャングライジングセンター	中島 誠事務局長	平尾 洋詞事務局長
(協)金沢問屋センター	泉 康次常務理事	川崎 眞人事務局長
奈良県総合卸商業団地(協)	瀧山 治幸事務局長	龍崎 俊朗事務局長
(協)津山卸センター	真木 誠司事務局長	清水 清加事務局長

(注)当連合会が確認できた分だけを掲載しています。

「卸商業団地機能向上支援事業」スタート

中小企業庁及び中小企業基盤整備機構の協力を得て、会員の皆様からも多くの要望がありました「卸商業団地機能向上支援事業」とい

う助成金事業を商団連が受け皿となり令和元年度より創設することができました。基金総額は5億4千万円、運用期間は5年間です。

この「卸商業団地機能向上支援事業」は卸商業団地が抱える課題を解決するための団地の再整備事業や共同事業の機能強化事業の実

施に際し、調査研究や事業化調査、基本計画・詳細計画の策定、システム開発などの費用の一部を助成するものです。大いに活用く

ださいますようお願い申し上げます。
今年度は15件の応募があり、助成金交付申請予定額は約1億4千万円となっています。
(6月30日現在)

〈平成30年度第2回〉事務局長会議開催

平成30年度第2回事務局長会が3月6日(水)、東京都港区のメルパルク東京「M13」において開催された。

当日は、北は北海道、南は九州の全国から66団地68名とご来賓合わせて84名が出席した。

はじめに葛永代表世話人(協ベイトウン尾道)の挨拶、今回初めて出席される方を紹介し、全員協議会が行われた。全員協議会の審議内容は、平成30年度事業及び収支中間報告、平成31年度事業計画案並びに収支予算案、平成31年度会費徴収案が審議されいづれも原案どおり承認された。

全員協議会終了後、来賓紹介に続き、中小企業庁経営支援部副課長高橋課長補佐より中小企業関連予算等

について、独立行政法人中小企業基盤整備機構高度化事業部沢田審議役より高度化事業の重点的取組み事項等について、経営支援部消費軽減税率対策補助金統括室前田担当課長より消費税軽減税率補助金等について、株式会社商工組合中央金庫融資第二部小山上席審査役より地域活性化、組合支援についてについて説明が行われた。

その後住友生命の健康マスター早川氏によるライフプランセミナー、健康増進セミナーが行われた。昼食をはさみ、一つ目の講演として「卸商業団地の再生と都市計画制度活用」について元国土交通省国土交通政策研究所佐々木所長より説明が行われ、参

加者から活発な質疑があった。二つ目の講演として新たな外国人材受入制度として「技能実習と特定技能それぞれについて」と題して東京フアシリティマネ

ジメント(協石黒事務局長より説明が行われた。またその後事例として協米沢総合卸売センター本宮事務局長より「監理団体」としての外国人材実習生の受け入れについて」説明が行わ

れた。当日の主な来賓出席者は、次のとおり(敬省略)「中小企業庁」高橋達也(経営支援部商業課長補佐)「独立行政法人中小企業基盤整備機構」沢田大志(高度化事業部審議役)前田和彦(経営支援部消費

軽減税率対策補助金統括室担当課長)「株式会社商工組合中央金庫」小山君一(本店融資第二部上席審査役)「住友生命保険相互会社」寺田 学(総合型基金営業室室長)「全国卸商業団地企業年金基金」上原 尚(常務理事)浅田浩之(事務局長)永野敦史(業務課長)

その後、株式会社商工組合中央金庫社長関根正裕様より「中期経営計画において組合員との関係強化を図るために勉強しております。組合の皆様にお役に立てるよう原点到返って皆様と一緒に歩んでいきたい」とのご挨拶をいただいた。

乾杯は、独立行政法人中小企業基盤整備機構井上秀生理事の発声により参加者一同和やかに歓談が行われた。当日の主な来賓出席者は、次のとおり(敬省略)「中小企業庁」安藤久佳(長官)奈須野太(経営支援部長)小島暢夫(商業課長)久田周士(商業課長補佐)高橋達也(商業課長補佐)「独立行政法人中小企業基盤整備機構」井上秀生(理事)柳澤 聡(高度化事業部長)押田誠一郎(高度化事業企画課長)沢田大志(高度化事業企画課審議役)

占部 治(関東本部長)「株式会社商工組合中央金庫」関根正裕(代表取締役社長兼社長執行役員)梅田晃士郎(副社長執行役員)小野木哲也(常務執行役員)黒澤秀一(執行役員・人事部長)萩尾 太(ファイナンス本部経営サポート部長)木戸昌己(ファイナンス本部融資第二部長)小山君一(ファイナンス本部融資第二部上席審査役)「全国中小企業団体中央会」高橋晴樹(専務理事)「東京経済大学」宮下正房(名誉教授)「全国卸商業団地厚生年金基金」橋高克和(理事長)「住友生命保険相互会社」米林 裕(常務執行役員)「流通マネジメント研究所」菊池宏之(代表)「全国卸商業団地対策議員懇話会」衆議院議員(本人)細田博之、原田憲治、小島敏文、広田一 参議院議員(本人)滝波宏文、宮沢洋一 衆議院議員(代理)津島 淳、鈴木俊一、田所嘉徳、福田達夫、小淵優子、尾身朝子、神山佐市、黄川田仁志、牧島かれん、松本純、堀内詔子、塩谷 立、盛山正仁、石破 茂、赤澤亮正、小林史明、岸田文雄、塩崎恭久、鬼木 誠、金子万寿夫 参議院議員(代理)山本一太、末松信介、舞立昇治、石井正弘



事務局長会議

平成31年1月16日(水)、東京都港区芝公園のメルパルク東京「孔雀の間」において新年賀詞交歓会が開催された。

会員38団地49名、卸商業団地対策議員懇話会の先生方、関係諸機関の幹部の方々が多数出席され盛大に行われた。はじめに福井会長より年

1年 賀詞交歓会



商団連会長 福井 弘氏

頭の挨拶が行われた。会長は、「卸地は多くの課題を抱えている。次の時代を見据えて行動しなければならぬ。人と情報の行き交う魅力ある地域活力のある創造拠点を目指して卸地自らが活性化していかなければならない。」と挨拶された。

つづいて全国卸商業団地対策議員懇話会の会長である衆議院議員の細田博之先生より「中小企業は個人の財産ではなく国の宝である。地域の財産であるという観点から中小企業が事業を継続していくために事業承継税制をはじめ良い税制を作ろうと努力している。

また、人口が急減している地域においては、人口のさらなる急減を抑制し、豊かな地方づくり、人づくりを推進するために事業協同組合を活用する方法を提案している。人材需要の地域全体のバランスのためにも事業協同組合による人材供給システムが必要である。」とのご挨拶をいただいた。

引き続き経済産業大臣政務官滝波宏文先生より「安倍政権が発足して6年になり、経済の好循環が着実に実現している。しかし、AI、IoT等イノベーションが進み産業も変革期を迎えている。中小企業・小規模事業者の皆様へ寄り添いしっかり支援してきたい。」とご挨拶された。

その後、株式会社商工組合中央金庫より「中期経営計画において組合員との関係強化を図るために勉強しております。組合の皆様にお役に立てるよう原点到返って皆様と一緒に歩んでいきたい」とのご挨拶をいただいた。

乾杯は、独立行政法人中小企業基盤整備機構井上秀生理事の発声により参加者一同和やかに歓談が行われた。当日の主な来賓出席者は、次のとおり(敬省略)「中小企業庁」安藤久佳(長官)奈須野太(経営支援部長)小島暢夫(商業課長)久田周士(商業課長補佐)高橋達也(商業課長補佐)「独立行政法人中小企業基盤整備機構」井上秀生(理事)柳澤 聡(高度化事業部長)押田誠一郎(高度化事業企画課長)沢田大志(高度化事業企画課審議役)

商工中金の中小企業組合支援

個々の企業が抱える課題に、連携して対応する中小企業組合。商工中金は設立以来一貫して、組合・組合員の価値向上を支援。これからも組合運営のフォローや情報提供、ご融資を通じて、組合活動をサポートします。

個人のお客さま向けの定期預金です。

高めの金利設定(当金庫内比較)

固定金利の半年複利(元本保証)

1年、2年、3年から期間が選べる

安心、確実、お得に増やす

マイナーベスト

商工中金

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-10-17
<https://www.shokochukin.co.jp/>

全国卸商業団地企業年金基金 平成30年度収支状況のご報告

平成30年度決算(平成30年3月1日～平成31年2月28日の年金経理収支状況)

収 入 (単位:百万円)	支 出 (単位:百万円)
掛金収入	1,108
運用収益	15
業務会計からの受入金	30
別途積立金取崩金	103
合計	1,256
老齢給付費	1,302
脱退一時金	154
遺族給付費	11
業務委託費等	36
責任準備金増加額	△266
当年度剰余金	19
合計	1,256

平成30年度の剰余金は1千9百万円となりました。前年度までの約19億円と合わせ、平成30年度末の累計の剰余金は、約20億円になりました。なお、決算は令和元年6月26日開催の第7回代議員会で承認されました。また、各組合員企業には、8月発送予定の基金日よりお知らせいたします。

新規加入を随時受付しています

当企業年金基金 年金制度の6つの特色

1. 一時金の受給ができ、退職金の事前準備にも活用できます
 2. 税の優遇措置が受けられます
 3. 賃確法に定める退職手当の保全措置が免除されます
 4. 積立金の運用は、リスクゼロの運用を行っています
 5. 現役世代の人口減少の影響を受けません(事前積立方式)
 6. 長寿化の影響を受けません(年金は有期年金を受給)
- ぜひ、加入のご検討をお願いいたします。

お問い合わせ 全国卸商業団地企業年金基金 TEL 03-3560-7017 FAX 03-3560-3054
〒107-0052 東京都港区赤坂5-1-31 第6セイコービル4階

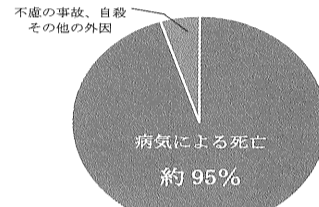
商団連からのお知らせ ～従業員様の弔慰金制度の財源はどのように準備されていますか～

住友生命が平成28年度に全国約1500社に実施した福利厚生アンケートによると、弔慰金制度の実施率は約94%でした。また、同アンケートの「弔慰金の財源手当て方法」の問いには、生命保険という回答が一番多く、約半数となっています。当協同組合で実施している商団連グループ保険は生命保険です。災害保障特約が付いたシンプルな保障ですが、病気死亡、災害死亡のどちらでも支払い対象となり、もちろん24時間保障ですので弔慰金の財源手当てにはピッタリの制度です。

(ワンポイント)

- ・商団連と同じように様々な団体(全国単位、県単位、都市単位等)で設立された生命保険共済もあります。規模も保障内容(特約内容、独自給付内容等)も共済によって様々で、一概にどちらの制度が優れているかは比較できません。一般的に加入者規模が大きくなれば実質掛金は安くなります。またガン等の生前給付を付加する等保障内容を幅広くすれば掛金は高くなります。

<日本人の主要死亡原因別割合>



出典：厚生労働省「平成28年 人口動態統計月報年計(概数)」の概況より住友生命にて加工作成

商団連グループ保険は、弔慰金制度の裏付けとしては十分な保障内容となっており、全国規模のスケールメリットで、割安な掛金を実現しております。ぜひ一度お見積りを申しつけてください。

住友生命からのご案内

住友生命では商団連ご加入の組合員様の福利厚生制度向上のために、さまざまな提案をさせていただいております。

- ・商団連グループ保険のご案内
(会社掛けプラン) 従業員様の弔慰金制度の財源を割安な掛金で準備できます。ぜひお見積りを依頼ください。
(ファミリープラン) 従業員様個人が掛金を負担するプランです。一般の個人保険と商団連グループ保険を組み合わせることで、割安で合理的な保険加入が実現できます。
- ・健康チェックイベントのご案内
住友生命では健康増進活動の一環として血管年齢測定などの健康チェックイベントを実施しております。ぜひ一度実施ください。
- ・各種セミナーのご案内
「健康増進セミナー」が大好評です。既にたくさんの組合様で実施いただいております。約60分間のセミナーとなりますので、ぜひご利用ください。このほかにも「若手従業員様向けライフプランセミナー」「50歳代従業員様向けのセカンドライフセミナー」を講師料無料で行っております。ぜひお気軽にご依頼ください。
お申込み・お問い合わせは商団連事務局(担当吉澤：03-6807-4335)または住友生命(担当寺田：03-5550-9884)までご連絡ください。

「parkrun (パークラン)」

parkrun (パークラン) は世界21ヶ国で毎週土曜日の朝に公園等で開催される、参加費無料の5kmランニング&ウォーキングイベントです。参加方法など詳しくは parkrun Japan 公式HP をご確認ください。住友生命は、日本における唯一のオフィシャルスポンサーとして、日本国内でのパークラン展開を全面的にサポートしております。詳細は [parkrun Japan](http://parkrun.jp) 検索



起業したいが方法がわからない。
会社を継いでくれる人間がない。
起業する資金が欲しい。
経営戦略を専門家に相談したい。
新しく事業を始めたい。
後継者や幹部をどう育てたいの？
他社に売り上げを伸ばすために何をすれば？
販路開拓のいいアドバイスが欲しい。
資金繰りに困っている。
社長を引退した際、安心が欲しい。

358万の悩みに応える。

中小機構は、全国の中小企業をサポートする国の支援機関です。

中小機構

詳しくは、中小機構 検索